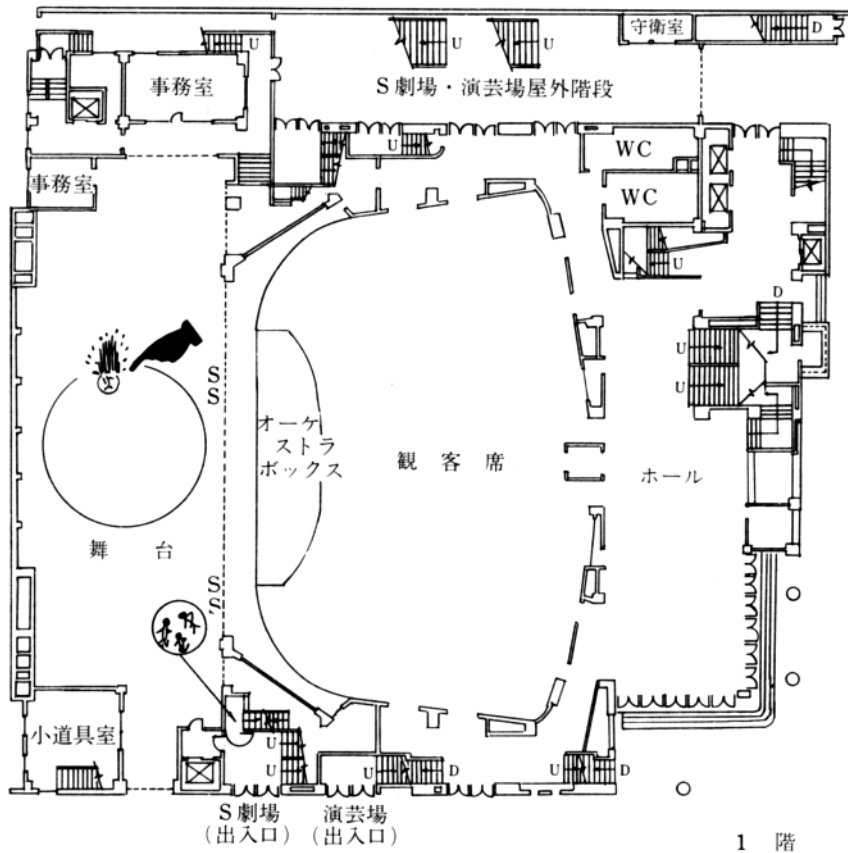




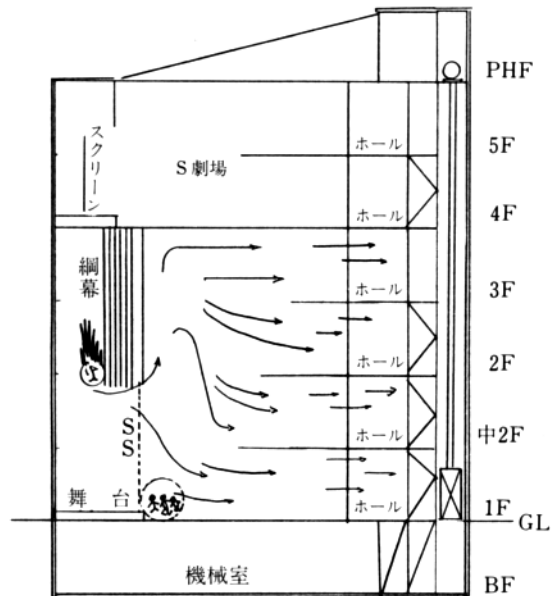
|   |   |  |  |  |
|---|---|--|--|--|
| ⑤<br>火<br>災<br>の<br>延<br>焼<br>経<br>路<br>等 | <p>(出火部位) (出火室の拡大) (他室への拡大) (他階への拡大)</p> <p>1階舞台部の幕 — 各種幕類 — 未閉鎖シャッター部<br/>分から客席へ延焼 — 吹抜け部分の壁天井<br/>を2・3階へ延焼</p>  |  |  |  |
|   | <p>舞台部に吊り上げられていた幕から出火し、舞台一杯に吊られていた各種幕類に燃えうつり、急速に拡大し、舞台部と客席部とを区画するシャッターのうち下手脇のシャッターが閉鎖できなかったため、この部分から客席に延焼、舞台部と客室の吹抜け部を3階まで延焼拡大していった。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 舞台上部の幕からの出火のため、初期消火が効をなさなかった。</li> <li>○ 防炎性のない幕類が多量にあった。</li> <li>○ 舞台区画シャッターの下手脇側が猛炎のため閉鎖できなかったためそこから延焼した。</li> </ul> <p>○ 煙の伝播経路</p> <p>舞台部吹き抜け及び閉鎖されなかったシャッター部から客席吹き抜け部へさらには、階段シャフト等を上昇し、各階へ充滿した。</p> |  |  |  |
| II 火災建物概要                                 |   |  |  |  |
| ①<br>建築                                   | <p>着工・竣工又は主たる改築等<br/>(竣工) 昭和8年 (改築) 昭和30年4月 日</p>   |  |  |  |
| 管<br>理<br>状<br>況                          | ② 縦 穴 の 状 況   |  | ③ 防 火 管 理 状 況  |  |
|   | <p>階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/><br/>エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/><br/>エスカレータ <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/></p> <p>階段室、ダクトスペース等全て甲種防火戸により区画されていた。</p>   |  | <p>防火責任者が選任されており、消防計画も一応樹てられてはあったが徹底されておらず、避難誘導訓練は客の入替時に兼ねて行われた程度であった。</p> |  |
| 管<br>理<br>状<br>況                          | ④ 防 火 区 画 等   |  | ⑤ 消 防 用 設 備 等  |  |
|   | <p>甲種防火戸により次の区画がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用途別の防火区画</li> <li>○ 舞台部、楽屋部と客席部との防火区画</li> <li>○ 各映写室と機械室との防火区画</li> </ul>   |  | <p>通報設備は毎日守衛が点検し、毎月業者が行っていた。</p>   |  |

| III 火災後の行動  |  |   |   |   |       |  |
|-------------|--|---|---|---|-------|--|
| ①<br>発見状況   | <p>○発見者 (大道具係2名)<br/>○発見の動機 (大道具のうらにかくれているとき幕が燃えているのを見つける)<br/>○発見後の行動 (幕をおろせとさげんで消そうとした)</p> <p>大道具係2名が劇に使用中の大道具(和船)にかくれていたところ、上手側上方に吊りあげてあった。ネットの幕のすそあたりがチョロチョロと燃えているのを発見し、「幕をおろせ」とさげんで舞台装置の甲板の上をわたり、燃えている幕の降りてくるのを持っていたハンマーで叩き消そうとしたが及ばず、火は幕を燃えあがり、舞台上手一杯に吊られていた46枚の幕に燃えうつり急速に拡大していった。</p>  |   |   |   |       |  |
| ②<br>通報状況   | <p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (観客) 発見後約( 8 )分<br/>         しない <input type="checkbox"/> 大道具係員</p> <p>○たまたま観劇中の消防職員が舞台部上方から火の着いた布切れのようなものが落ち、その方向へ2名の者が走り寄って幕を引降すのを見て真火災を直感し正面出入口の電話で119番した。<br/>         なお、この時までは観客は劇のシーンに見入っており、立上る者もなく、場内アナウンスでも知らせてない。<br/>         ○第2報～119通報の30秒後に京橋望楼が発見通報(16時20分30秒)<br/>         ○第3報～宝塚劇場守衛所から火災報知機により通報(16時23分)</p>   |   |   |   |       |  |
| ③<br>初期消火状況 | <table border="1"> <tr> <td>消火した</td> <td>           成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/><br/>           ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/><br/>           ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/><br/>           ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2">           (理由又は状況)<br/>           ○従業員が消火器(泡沫)で消火すべく搬送中横にしたため放出し、使用不能となったため。<br/>           ○粉末消火器及び屋内消火栓を使用したか燃焼部は約10mの高さがあり所要圧力を得られず効果がなかった。<br/>           ○観客4～5名が1Fロビーの屋内消火栓を使用し客席後部西側より消火に努めたが濃煙と延燃が熾烈なため効果は少なかった。<br/>           ○従業員は地下(舞台の下)から屋内消火栓3ヶ所使用し、消防隊到着まで延焼阻止に努めた。         </td> </tr> <tr> <td>消火しない</td> <td>           ○消火時期 <input type="checkbox"/><br/>           ○消火困難性 <input type="checkbox"/><br/>           ○消火方法 <input type="checkbox"/><br/>           ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table> | 消火した  | 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/><br>○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/><br>○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/><br>○消火方法 <input type="checkbox"/> | (理由又は状況)<br>○従業員が消火器(泡沫)で消火すべく搬送中横にしたため放出し、使用不能となったため。<br>○粉末消火器及び屋内消火栓を使用したか燃焼部は約10mの高さがあり所要圧力を得られず効果がなかった。<br>○観客4～5名が1Fロビーの屋内消火栓を使用し客席後部西側より消火に努めたが濃煙と延燃が熾烈なため効果は少なかった。<br>○従業員は地下(舞台の下)から屋内消火栓3ヶ所使用し、消防隊到着まで延焼阻止に努めた。 | 消火しない | ○消火時期 <input type="checkbox"/><br>○消火困難性 <input type="checkbox"/><br>○消火方法 <input type="checkbox"/><br>○その他 <input type="checkbox"/> |
| 消火した        | 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/><br>○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/><br>○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/><br>○消火方法 <input type="checkbox"/>  | (理由又は状況)<br>○従業員が消火器(泡沫)で消火すべく搬送中横にしたため放出し、使用不能となったため。<br>○粉末消火器及び屋内消火栓を使用したか燃焼部は約10mの高さがあり所要圧力を得られず効果がなかった。<br>○観客4～5名が1Fロビーの屋内消火栓を使用し客席後部西側より消火に努めたが濃煙と延燃が熾烈なため効果は少なかった。<br>○従業員は地下(舞台の下)から屋内消火栓3ヶ所使用し、消防隊到着まで延焼阻止に努めた。 |   |   |       |  |
| 消火しない       | ○消火時期 <input type="checkbox"/><br>○消火困難性 <input type="checkbox"/><br>○消火方法 <input type="checkbox"/><br>○その他 <input type="checkbox"/>   |   |   |   |       |  |
| ④<br>消火活動概要 | <p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○出火当時は避難者と付近から駆付けた観衆で道路上は極度の混乱を呈し、消防車の進行及び水利部署不能の状態であった。<br/>         ○先着隊到着時2・3階の南及び北側窓から黒煙が吹き出し、舞台部全面は最盛期であり、1～3階客席に延焼中で建物内部は濃煙と熱気により屋内進入が困難であった。</p> <p>救助状況</p> <p>○一般人による救助…劇場西側でビル工事の建設作業員約245名が駆付け工事場より搬送した梯子角材等により1階から観客1名、2階劇場劇団関係者37名、3階同団関係者12名、屋上からは15名を救助<br/>         ○消防隊による救助…2階から31名 屋上から4名を救助</p>  |   |   |   |       |  |

|   | 避難方法   | 避難上支障事項  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
|---|--|--|----|-------------|-------|---|------|----|-----|---|-----|---|--------------|--------|--|
| ⑤<br>避難状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (約2,000人)</li> <li>○エレベーター, エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○窓, 開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (35人)</li> <li>○その他(一般人による救助) <input checked="" type="checkbox"/> (65人)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○無窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul> |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| ⑥<br>死者の状況  | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">健康人</td> <td style="width: 10%;">3名</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者<br/>病人</td> <td>名<br/>名</td> </tr> </table>  | 健康人  | 3名 | 避難上支障となった事項 | (泥酔者) | 名 | 要保護者 | 0名 | 乳幼児 | 名 | 高齢者 | 名 | 身体不自由者<br>病人 | 名<br>名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○無窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul> |
| 健康人   | 3名   | 避難上支障となった事項  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| (泥酔者)   | 名  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| 要保護者  | 0名   |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| 乳幼児   | 名  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| 高齢者   | 名  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| 身体不自由者<br>病人  | 名<br>名   |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
|   | <p>○宝塚劇場の観客は, 約1,300名いたが観客の一部の者及び従業員により全非常口を開放し居合せた消防職員4名と従業員の誘導により, 1階においては, 正面玄関よりほとんどの者が避難し, 南北非常口より約17%の者が避難している。2・3階の観客はほとんどが中央階段より避難, その他8名が南側の直通階段より避難している。</p> <p>○4・5階のスカラ座の観客約1,500名は従業員の適切な誘導により, 2ヶ所の屋外階段で90%直通階段で約10%が比較的静かに避難した。</p> <p>○5階の東宝演芸場の観客約200名は, 劇場側から火災を知らされ, 屋外階段からスムーズに避難</p>  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
|   | <p>○死亡者3名は, いずれも俳優で, 男1名女2名である。(避難中窒息, 全身火傷)</p> <p>○死亡位置は, 同劇場南側(帝国ホテル寄り)1階の舞台非常口のおどり場でおもたかたまっていて, この3名は, 中2階及び2階に控室をもち, 出火を知り階下にのがれようとして, この場所まで避難し, 煙に巻かれたものと思われる。</p>  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| <b>IV 問題点・教訓等</b>   |  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 屋内消火栓が5口の水量に対し, 10数口使用したので共倒れとなった。</li> <li>2. 舞台部区画用の防火シャッターは電動式のため, 火災の影響で停止するおそれがある。又, 同一目的の防火シャッターは1ヶ所で操作できる構造とし, 2ヶ所以上設け, かつ遠隔操作のできる構造とすべきである。</li> <li>3. 客席部の天井, 内壁は, 不燃材とする必要があり, 特に舞台部等の防火区画, 周囲は一切可燃物を使用してはならない。</li> <li>4. 観客に対する避難口等は相当考慮されているが, 楽屋からの避難口等について不十分であった。</li> <li>5. 客席内スロープ, 屋内階段曲り角階段出入口等の避難方向に変化のある場所で避難者が多数転倒しており, 4・5階の避難者が屋外階段(直通部分が長い)において転倒者のなかったことから考え合せて, 避難通路等は極力変化のないものが望ましい。</li> </ol> |  |  |    |             |       |   |      |    |     |   |     |   |              |        |  |



1 階



㊦ 死者は、いずれも劇団員で、2、3階楽屋への専用階段の1階部分で死亡していた。